

保護者 様

人吉市立人吉西小学校
校長 椎葉 勇二

令和3年度後期（2月）の学校評価アンケートの結果について

早春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
2月にご協力いただいた、後期の学校評価（子供、保護者、教師）の結果をご報告します。
さて、本年度、人吉西小学校が、子供たちに「育てたい資質・能力」は次の4つでした。

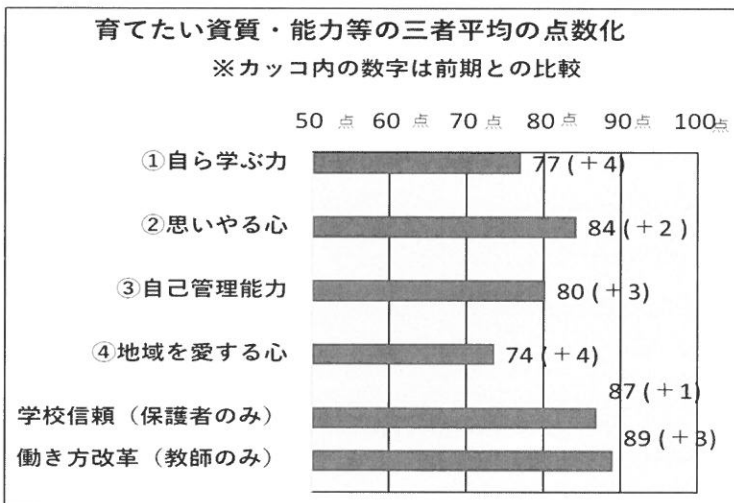
①自ら学ぶ力	③自己管理能力
②思いやる力	④地域を愛する心

今回の学校評価の結果を、前期（8月）と比較しながらご覧いただき、「4つの育てたい資質・能力」の現状を共有し、子供の成長、そして学校の成長につなげていきたいと思っております。家庭教育や学校教育の充実に向けて、ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

1 育てたい資質・能力等の学校評価について

保護者・児童・教師の学校評価を、次のように「点数化」し、より現状を把握しやすくしました。

・よくできている…100点 ・だいたいできている…80点 ・あまりできていない…50点 ・ほとんどできていない…0点



三者別の点数化

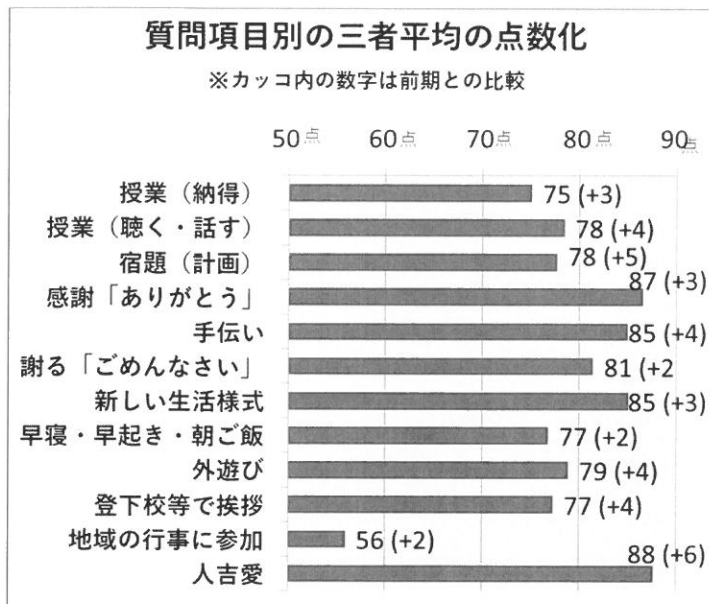
資質能力	児童	保護者	教師
自ら学ぶ力	81点 (+3)	72点 (+4)	79点 (+5)
思いやる心	88点 (+1)	82点 (+3)	83点 (+4)
自己管理能力	83点 (+2)	76点 (+1)	82点 (+6)
地域を愛する心	81点 (+4)	73点 (+5)	67点 (+3)
平均	83点 (+2)	76点 (+3)	78点 (+5)

【考察】

- 前期（8月）に比べてすべての項目で点数がプラスになりました。人吉西小学校で育てたい資質・能力について、学校評価等での周知により、児童、保護者、教師の意識が高まるとともに、学校教育や家庭教育での継続的な取組を行ってきたことが大きな要因だと考えます。
- 点数が高い資質・能力は？
1位「思いやる心」（84点）でした。
4つの資質・能力の中で、三者ともに最高得点でした。児童の「思いやる心」は、温かい雰囲気をつくる土台となります。現在、人吉西小学校全体の雰囲気はとても温かい雰囲気です。今後も家庭と連携して育てていきます。
- 前期（8月）と比較して、伸びが大きい資質・能力は？
1位「自ら学ぶ力」と「地域を愛する心」でした。
自ら学ぶ力については、「授業の充実」「復習の場の設定」「家庭学習での学習習慣の確立」により、自ら学ぶ力の向上につながったと考えています。地域を愛する心については、地域での学習活動が制限される中、できることを考えて推進してきたことが大きかったと考えます。特に、まだ実施はできていませんが、児童会が中心となって進めてきた「鉄道復興協力プロジェクト」は、人吉球磨の復興を願う児童の思いが詰まっていました。
- 保護者のみの「学校信頼」と教師のみの「働き方改革」の評価項目は、87点と89点と高く、しかも、前期よりも更に向上しました。この2つの評価項目は、「信頼される学校づくり」「安心・安全な学校づくり」の土台となります。よりよい人吉西小学校にするためにも、チーム学校として今後も推進していきます。

2 質問項目別の学校評価について

「4つの育てたい資質・能力」のそれぞれに、質問を3項目ずつ行いました。その結果です。



三者別の点数化

質問項目	児童	保護者	教師
授業（納得）	78点	69点	78点
授業（聴く・話す）	80点	76点	79点
宿題（計画）	83点	71点	79点
感謝「ありがとう」	92点	84点	84点
手伝い	86点	84点	85点
謝る「ごめんなさい」	86点	77点	81点
新しい生活様式	85点	89点	81点
早寝・早起き・朝ご飯	75点	77点	78点
外遊び	86点	65点	86点
登下校等で挨拶	87点	81点	64点
地域の行事に参加	63点	51点	53点
人吉愛	92点	86点	84点

【考察】

- 点数が高い資質・能力（質問項目）は？

1位「人吉愛」（88点）でした。前期より+6点と伸び率でも1番でした。豪雨災害からの復旧・復興や、コロナ禍の中で日常や地域を見直すことにより、人吉愛が高まったのではないかと考えます。

2位「感謝『ありがとう』」（87点）でした。「ありがとう」は、言われた人も言った人も温かい気持ちになります。人吉西小学校の子供たちの温かい雰囲気の原因は、この言葉にあるようです。

- 児童と保護者の点数の差が一番大きいのは？

「外遊び」でした。子供は86点と高得点ですが、保護者は65点と低い点数でした。コロナ禍の中での外出等の制限が要因として考えられます。子供は学校の昼休みに外で元気よく遊んでいますが、帰ってからは、外遊びをあまりしなくなったのでしょうか。学校では、マスクを着用して外で鬼ごっこやサッカー、遊具等で楽しく遊ぶ子供の姿があります。今後も大切にしていきたい子供の姿です。

- 児童と教師の点数の差が多いのは？

「登下校等での挨拶」でした。子供は87点の高得点ですが、教師は64点の低い点数でした。登校指導や啓発も行ってきましたが、教師の認識では低い結果になりました。気持ちよく元気な挨拶をする子供も増えてきていますが、個人差が大きいです。学校、家庭、地域で連携しながら高めていきたいと考えています。

3 取り組んできた重点努力事項について

「4つの育てたい資質・能力」を育むために、年間通して、以下の4つの重点努力事項に取り組んできました。ご支援、ご協力ありがとうございました。なお、自由記述にあったことについては、熟察の上対処できることから取り組んでいきます。

（1）4つの「育てたい資質・能力」を五者で共有・連携・協働

学校は、知・徳・体の調和のとれた生きる力の育成をめざしています。そこで、年度当初、児童に育てたい資質・能力を検討し、4つの資質・能力を掲げ教育活動を行ってきました。そして、五者（子供、保護者、教師、地域、行政）で、この4つの資質・能力を共有・連携・協働しながら児童の育成を図ってきました。お陰で、4つの資質・能力の向上につながりました。

（2）学力の向上

学力向上の3本柱である、「授業の充実」「復習の場の設定」「家庭学習での学習習慣の確立」の取組を推進してきました。全学調や県学調の結果の向上にもつながりました。

（3）「五つの合い言葉」の推進

「五つの合い言葉（挨拶、勉強、掃除、思いやり、感謝）」を児童がしっかり言えて、意識しながら教育活動ができるようになりました。

（4）「笑顔 夢 感動」をすべての子供に

人吉西小学校の学校教育目標のキーワードは、「笑顔 夢 感動」です。「笑顔 夢 感動をすべての子供に。」という強い思いをもって教育活動を推進していきました。